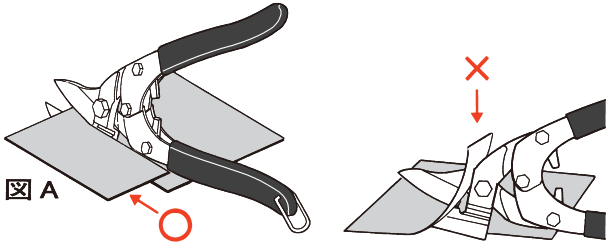
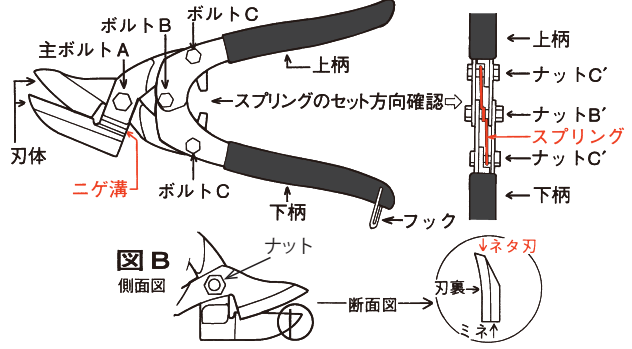


テスキー鋏の正しい使い方



今までの鋏のように矢印×の箇所を持ち上げず
上図Aのようにニゲ溝を通してお切り下さい。

各部の名称



ご使用上の注意

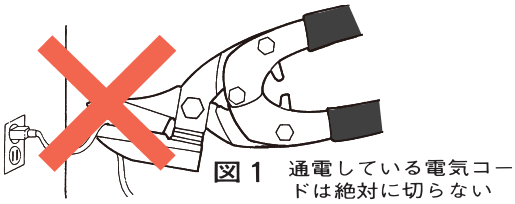


図1 通電している電気コードは絶対に切らない

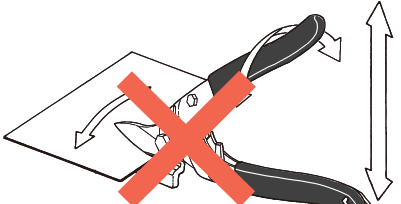


図2 切断中は刃を上下左右に振ったりこじったりしない

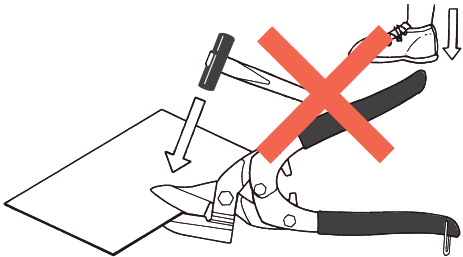


図3 ハンマー等でたたいたり足で踏んで切断しない

- ▲ 鋏の用途以外にはご使用にならないで下さい。
- ▲ 鋏のフックをはずす時は、上下の柄をにぎってはずし、使い終りは必ずフックをかけ、刃を閉じて下さい。
- ▲ 切断許容板厚(台紙裏面参照)以上の物や薄い板を複数枚重ねた物は切らないで下さい。
- ▲ 刃は素手でさわったり、握ったりしないで下さい。
- ▲ 金属板のほし切り落としは、切れ端が飛びちりやすいので、ゆっくりと切り落として下さい。(間近に人がいない事を確認して下さい。)
- ▲ 切断作業中は危険防止のため眼や顔を近づけないで下さい。
- ▲ 鋏のミネや柄をハンマー等でたたいたり、足で踏んで切断しようとしてしないで下さい。(図3参照)
- ▲ 切断中に刃を上下左右に振ったり、無理にこじったりしないで下さい。(図2参照)
- ▲ ハンマーのかわりに使ったり刃先で缶のフタ等をこじ開けたりしないで下さい。
- ▲ 切断作業中は指や身体が、刃や金属板の切断面にふれないようにして下さい。
- ▲ 通電している電気コードは絶対に切らないで下さい。(図1参照)
- ▲ 鋏を落としたりすると、刃がカケたり足等に刺さる危険もありますので、落とさないで下さい。
- ▲ ネジがゆるんだり、刃がカケたままのご使用は危険ですのでやめて下さい。修理に出すか、研ぎ直しをしてご使用下さい。
- ▲ 子供の手のとどかない場所に保管して下さい。

必ずお読み下さい

お手入れ方法

☆使用中に刃がきしんできたなら、刃の裏側を油布か、布でからぶきをして下さい。

☆使用後は刃部を油布等でふいておいて下さい。

☆開きづらくなったら、主ボルトAに油を注して下さい。(ナット側には注さないで下さい。)

☆刃を研ぐ順序

- ①フックをかけたまま主ナットA'をはずします。(ナットを締めはずす時は、必ずボルトをレンチ等で固定して下さい。)(図C参照)
- ②ナットC'を2ヶ所はずしてからフックをはずします。
③ボルトB・Cには、ゆるみ防止剤が塗布してあるのでボルトとナットは共回ります。ボルトを固定してナットをはずします。
- ③ボルトCを2本抜き、刃体と柄に分解します。(図D参照)
- ④主ボルトAを抜きます。上刃柄にネジが切つてありますので、ボルトを回しながら抜きます。
- ⑤ネタ刃部を砥石で研ぎます。(図B参照)(刃裏は絶対に研がないで下さい)
- ⑥組立ては以上の逆順序④→①です。
⑥-1 主ボルトAの締め具合は、上刃と下刃がスムーズにすり合わさる程度にし、主ナットA'はきつく締めて下さい。
⑥-2 刃体と柄を組み合わせる時は、スプリング方向を確認して下さい。(図F参照)
⑥-3 ボルトC2本には、ゆるみ防止剤を塗って下さい。

☆スプリング交換順序

- ①ナットC'を2本はずし、フックをはずします。ボルトCを2本抜き、刃体と柄を分解します。(図D、及び刃研ぎ②の③参照)
- ②ナットB'をはずし、Bを抜きスプリングを取り出します。(図E参照)
- ③上柄と下柄を組み合わせ、ボルトBを差込みながらスプリングのコイル部をボルトBで通します。ナットB'をかり止めにかかけます。(図E参照)

- ④ボルトC2本で刃体と柄を接続します。
⑤スプリングの方向確認をして下さい。(図F参照)
- ⑤フックをかけ、ボルトB・Cのネジ部分にゆるみ防止剤を塗ります。
- ⑥ナットB'は2周位で止め、ナットC'は3~3.5周位締めます。
⑥締めすぎると刃の開閉ができなくなります。

